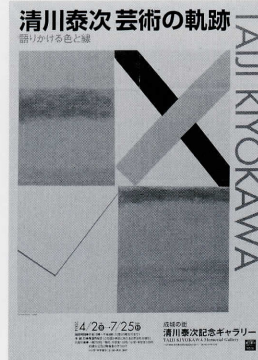


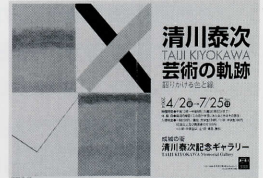
平成16年度 第1期展
「清川泰次 芸術の軌跡」

会期：4月2日～7月25日
入場者数：1,035人
担当者：清水久夫

清川泰次は絵を描き始めた20代の頃、具象画を作成していた。彼の絵画が大きく変化したのは戦後まもない1951年、32歳で渡米してからである。その生活は彼を解放し、画家としての行き方を決定付けた。彼は43歳の時に再び渡米し、独自の白い世界を獲得したのである。そして1970年代には、白いキャンバスにかすかな線が現れる。本展覧会は、そうした初期の具象画から最盛期の作を経て晩年に至る28点の作品を通して、清川泰次の芸術の軌跡を辿ろうとするものである。



B2ポスター



B3ポスター



チラシ

出品目録

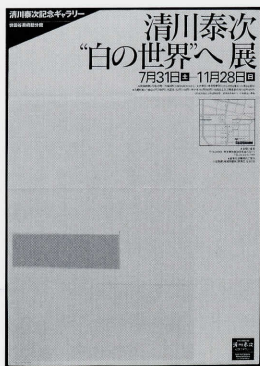
No.	作品名	制作年
1	親子立像	1946～47年
2	自画像	1947年
3	由紀子・二侯のアトリエにて	1947年
4	(横顔)	1948年
5	(4人)	1950年頃
6	(静物、パイプと灰皿)	1950年頃
7	メデイトレーニアン風景 55-6	1955～6年
8	レークサイド-56	1956年
9	ラベンダーポエム	1958年
10	走る太陽	1959年
11	Fall (秋)	1959年
12	紫と黒の作品	1960年
13	Painting No.100P-5-62白	1962年
14	砂浜-63	1960～63年

No.	作品名	制作年
15	ザ・セルリアンブルー 100M-11-63	1962～3年
16	Painting No.5-62-3 赤とグレー	1963年
17	Painting No.662-3 黒い雨	1963年
18	Painting No.SF364	1964年
19	左半分黒のF6-67	1966～7年
20	コーラルレッドの3号-67	1960～67年
21	左下に黒い線	1967年
22	白の中へ	1967～68年
23	右下に赤三角	1968年
24	左下に黒三角	1968年
25	紫のある風景	1970年頃
26	Painting No.593	1993年
27	Painting No.199	1999年
28	Painting No.12000	2000年

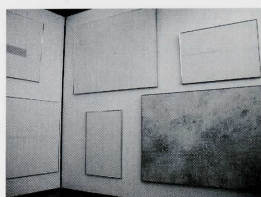
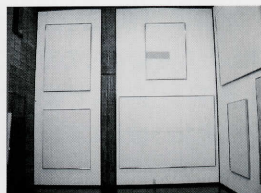
平成16年度 第2期展 「清川泰次：“白の世界”へ」

会期：7月31日～11月29日
 入場者数：851人
 担当者：高嶋雄一郎

1963年から三年間に渡る二度目の渡米体験を経て、清川は1970年代にかつてないほどに洗練された、白い画面に僅かな筆致を標すというスタイルに達した。本展は、清川自らが「白の世界」と呼ぶ1973年ごろのシリーズに至るまでの軌跡を辿ると共に、その後の展開を追った。また、改築される前の住まいの雰囲気の一部再現し、和の雰囲気溢れる清川の元・自室にステンレスの立体を展示した。



B2ポスター



出品目録

No.	作品名	制作年
1	右に黒 白黒作品	1958-60
2	白い絵具 チューブから	1950代
3	白チューブからの4号-61	1959-61
4	Painting No.100P-5-62白	1962
5	白の中へ	1967-68
6	白の中の一本の線	1972
7	白の中の何本かの線	1972
8	黄四角 中に一本の線	1972
9	Painting No.1773	1973
10	Painting No.2873	1973
11	Painting No.30-73	1973
12	Painting No.3273	1973
13	Painting No.3873	1973
14	白の世界 No.36-73	1973

No.	作品名	制作年
15	Painting No.52-73	1973
16	白の中に白い点々	1977
17	Painting No.327980	1980
18	Painting No.381-B	1981
19	Painting No.681-B	1981
20	Painting No.781-B-83	1981
21	Painting No.1282	1982
22	Painting No.186	1986
23	Painting No.286	1986
24	Painting No.888	1988
25	紫	不明
26	イエローオーカー	不明
27	うすグリーン	不明

平成16年度 第3期展

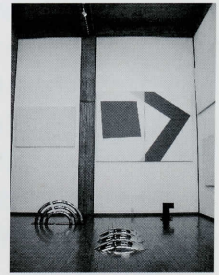
「清川泰次：平面と立体－その行間を読む－」

会期：12月4日～2005年3月27日
 入場者数：698人
 担当者：高嶋雄一郎

本展は、1980代に清川泰次の作風がどのように展開したかを辿るものである。1973年に発表された「白の世界」シリーズで彼の作品はこれ以上何も削ることが出来ないほどに簡潔で、同時に凛々しさを滲えた表現へと達した。そして時を同じくして、1973年から彼は立体作品の制作も開始している。このような平面と立体の相互関係を育むことにより、彼の表現はより豊かな展開を見せることになる。こうした簡潔な表現から多岐にわたる表現へと至る推移を踏まえ、本展では清川が1970年代に制作した作品を中心に、平面と平面、平面と立体、立体と立体の関連性、いわばそれらの“行間”を読み直そうと試みるものである。



B2ポスター



出品目録

No.	作品名	制作年
絵画		
1	キャンバスの端をつぎ足した作品	1955～6年
2	ライトブルー色の絵	1962～3年
3	赤一色の絵	1960年代
4	Painting No.30-73	1973年
5	Painting No.66-73	1973年
6	Painting No.177980-1	1980年
7	Painting No.177980-2	1980年
8	Painting No.177980-3	1980年
9	Painting No.177980-4	1980年
10	Painting No.187980	1980年
11	Painting No.247980	1980年
12	Painting No.382	1982年

No.	作品名	制作年
13	Painting No.1382	1982年
14	Painting TT 7787	1987年
15	Painting No.288	1988年
16	Painting No.388	1988年
17	Painting No.1391	1991年
彫刻		
18	Iron Object No.8673	1973年
19	Stainless Object NIJI-2 No.3191	1991年
20	Stainless Object SEMI No.3591	1991年
21	Oval Shaped Stainless Steel Object No.1-93	1993年
22	Oval Shaped Stainless Steel Object No.1-93	1993年
23	Oval Shaped Stainless Steel Object No.1-93	1993年